

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	平成31年1月24日(木)【現第6学年】 令和2年2月18日(火)【現第5学年】
利用学年・参加人数	第6学年・109人 第5学年・97人
利用コース	半日(セッション2-3)
利用級	初級
教育課程上の位置付け	外国語活動、学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



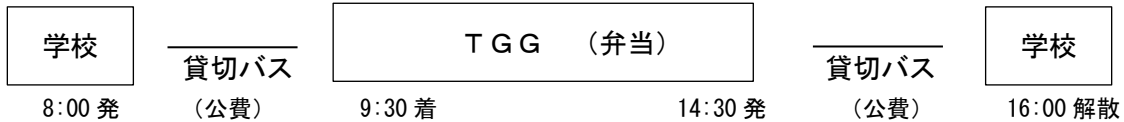
○本校における英語教育・国際理解教育について

第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年	区立中学校
英語活動(標準授業時数外) 年間10時間	外国語活動 年間35時間	外国語活動(外国語科) 年間70時間	外国語科 年間140時間
担任+ALT(全授業時間対応) <主な教材: Let's try!(3,4年) Hi, friends.(5年) We can!(5,6年)>			教科担任 +ALT
SGG※1(小5)		TGG(小5)	アジア文化会館交流(小6)
			TGG(中2)

※1 SGG…SHOWA Global Gatewayの略

※2 文京区立小・中学校では平成30年度より小学校第5学年及び中学校第2学年でTGGを全校利用

○利用日当日の行程



○事前学習や事後学習について

- ・ TGG実施前に、SGGとして、1学級ごとに4人のALT及び担任で日常シーンにおける実践型の授業を実施した。
- ・ 第5学年でTGGを経験したのち、第6学年では、地域にあるアジア諸国からの留学生の宿舎であるアジア文化会館(ABK)の学生との交流体験の学習を設定し、実際にコミュニケーションをとりながら、日本の文化を紹介する学習を設定した。

○児童・生徒の変容について

- ・ TGGで学んだことによって、外国語学習の有益性を体験的に理解できた児童が多く、その後の英語学習への意欲・関心が高まっていた。
- ・ 本校には、外国に自身のルーツをもつ児童や一定期間を外国で生活した児童、普段から英語を学校以外の場所で学ぶ児童が多く在籍している。そうした児童にとって、TGGの体験は自身の生活経験や学習経験の成果を発揮する場面となり、自己肯定感を高める絶好の機会となった。また、その後の学級生活の中でもより良く周囲と協調していく姿が見られるようになった。

○本校のTGG利用の特徴について

- ・ 本校では、平成30年は第5・6学年全児童、令和元年度は第5学年の全児童がTGGを利用している。ランチプログラム、昼食代を含まない利用料、交通費は全額公費負担で実施している。
- ・ TGG実施後、学習状況を学年だよりや保護者会等で発信した。

「三鷹中央学園 9年間の外国語(英語)教育に位置付けた TGG の活用」

三鷹市立第七小学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和元年12月17日(火)
利用学年・参加人数	第5学年2クラス、特別支援学級 計64人
利用コース	半日(セッション2-3) ランチプログラム利用(無)
利用級	初級
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア(エアポート) <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年	中学1年生	中学2・3年生
第1期 外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成		第2期 外国語によるコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成		第3期 外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成
外国語活動 年間15時間	外国語活動 年間35時間	外国語 年間70時間	英語科 年間140時間	英語科 年間140時間

三鷹中央学園では、楽しみながら主体的に学ぶとともに、相手を受けとめ豊かなコミュニケーションをとりながら、自分自身のことや住んでいる地域について発信できる児童を育てるために、小・中一貫カリキュラムを活用しながら指導の充実を図っている。本校は「相手意識をもって主体的にかかわる児童の育成」を主題に日々研究を行っている。担任だからこそできる授業をコンセプトに、学ぶ過程を大切に授業を行っている。

○利用日当日の行程



○事前学習について

アクティブイマージョン・エリアでは二つのグループに分かれて、「自分の未来」「ダンスパフォーマンス」について英語で学び、体験する。英語学習と同時に、それぞれの分野の知識、思考をより深められるように、TGGで必要と考えられる表現に慣れ親しませるようにしている。エージェントの方とよりよいコミュニケーションをとったり、自分のことを積極的に表現したりできるように、外国語の授業の導入5分間「Talk time」として、like や can などの既習事項を使った即興的なやりとりをする時間を帯活動で行っている。また「ダンスパフォーマンス」のために体育の時間に絵本「From Head to Toe」(エリック・カール作)を使いながら体の部位の名前や clap, wave などの動詞に慣れ親しむようにした。

○本校のTGG利用の特徴について

学校ホームページに取り組み状況の写真を掲載したり、学校便りに児童の感想を載せたりして、家庭に外国語の学習の状況を伝えることで、英語の活用に対する意識啓発を行う。また学校でもできるだけ英語を話す必然性がある場面設定を大切に、英語でやりとりする楽しさを味わわせるよう研究、実践している。

「夏休みのおでかけツアー」

武蔵野東小学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和元年7月30日(火)
利用学年・参加人数	1年：9名 2年：13名 3年：7名 4年：10名 5年：5名 6年：1名 合計 45名
利用コース	半日セッション(2-3) 10:00~14:30
利用級	初級+
教育課程上の位置づけ	学童の夏休み校外企画
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア(ホテルゾーン) <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア (理想の町)



○本校における英語教育・国際理解教育について

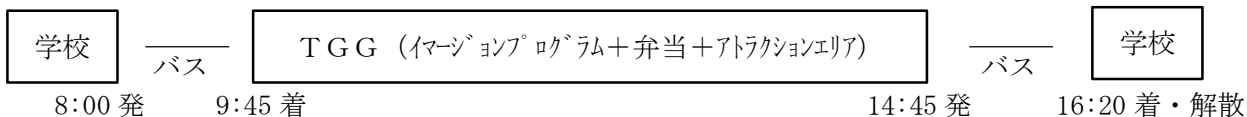
英語教育

1~2年生	3~6年生
週1コマ(クラスの半分の16~18名)	週2コマ：①クラスの半分の15~18名 ②クラス授業(30~36名)
英語専科+ネイティブ講師	英語専科+ネイティブ講師

国際理解教育

- ・様々な国出身のJICA研修生や姉妹校ボストン東スクールの学校の先生との授業内交流を毎年実施。
- ・年1回、全校児童で国際理解教育の授業を実施。

○利用日当日の過程



○事前学習や事後学習について

- ・参加児童の学年が異なり、希望者のみだったため事前学習・事後学習は行っていない。
- ・行きのバスの中でTGG準備ブックやPASSPORTを使って注意事項などの確認を行った。

○児童・生徒の変容について

高学年の児童を各グループ内のリーダーとし、低学年の世話を任せたところよく気配りをして面倒見よく動いてくれた。縦のつながりができ、互いに助け合う姿がよく見られた。

○本校のTGG利用の特徴について

授業の一環ではなく、本校の学童事業が企画する夏休みの「おでかけツアー」の位置づけ。旅行代理店に手配をお願いし、観光バスで往復。利用後は学校のHPで当日の様子を報告した。



グローサリーストア



ホテル



理想の町



TGG 利用当日の HP 記事